

●/人 広報



主な  
話題

第76回通常総代会  
JGAP団体認証取得！  
2024北海道B&Wショウ最高位獲得！  
田植え最盛期 その他

6 月号  
NO.680

# 伊達市農業協同組合 第76回通常総代会

## TOPICS

今年も無事総代会を終了することができました。総代の皆さん、ありがとうございました。  
4月～6月は春の農作業安全運動が展開されています。農業機械の転落・転倒対策として①安全フレーム付きトラクターの利用②ヘルメットの着用③シートベルトの着用を徹底しましょう!

### ■ 第76回通常総代会

5月21日(火)、第76回通常総代会を伊達市カルチャーセンターにて開催しました。総代総数138名のうち本人出席33名、議決権行使書84名、委任状3名を合わせて120名、出席率86.9%をもって総代会が成立し、提出されたすべての議案が承認されました。佐藤組合長は「昨年は干ばつ、暑さにより農作物がかなりのダメージを受けた。今年は食料・農業・農村基本法の改正もあり様々な政策がとられ難しい局面となるが、ひとつひとつ問題をクリアして皆さんの経営に少しでも貢献できるよう努力していきたい」とあいさつ。

令和5年度の営農販売高は、青果部門で12億3千万、畑作部門で4億1千万、畜産部門で38億4千万の前年比101%。

青果部門においては、春先から6月までは潤沢に推移しましたが、7月以降高温と干ばつの影響によりほぼ全ての品目において高温障害や枯れ、病害など甚大な被害を受け過去最低の取扱高となりました。

畑作部門では小麦が全量一等調整で終え出荷総数も前年比を大きく上回る結果となったものの、水稻・小豆については高温の影響により前年比を大きく下回り、てん菜においては全道的に蔓延した褐斑病や害虫被害の影響もあり平均収量は1.2トン増加したものの、糖分が前年に比べ1.3%低い結果となりました。

畜産事業においては肥料高騰、飼料用穀物価格の上昇に加え、円安から配合飼料をはじめとする生産資材の価格高騰に直面した他、依然としてコロナ禍の影響が回復せず乳製品等の需要が低迷し、生乳の自主的生産抑制に至りました。



組合長あいさつ



議長を務めた高野雅輝さんと佐藤英一さん

また、猛暑による生乳量の減少や個体販売の価格低迷により厳しい状況ながらも、肥育牛・豚の販売頭数増加並びに単価高により取扱高を上回る結果となりました。

また、農協事業においては、第8次農業振興計画・中期経営計画の実行と検証を進め、課題の抽出やコロナ禍以降となる組合員との対話活動を実施し、新たな計画を策定。高収益作物として甘藷（サツマイモ）の本格栽培にあたっては生産者自ら採苗の取組みや機械化での省力化、系統組織を通じた生食用海外輸出と一部道内市場向け販売など実施し、産地化の可能性についてさらに前進させることができました。

今年度においては、労働力不足や生産性向上等を実現するためのスマート農業技術等の情報提供や実用試験などを推進するとともに、後継者や新規就農の促進などにより担い手の確保を図ること、試験栽培から始まった甘藷（サツマイモ）については作業の省力化を目指すとともに定植並びに収穫機を活用し5ha以上の作付を予定しているとしました。



総代会のようす

### 《第76回通常総代会議案》

- 第1号 令和5年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認について
- 第2号 任意積立金（定款65条に定める目的積立金）の積立目標額の増額について
- 第3号 賦課金の賦課及び徴収方法について
- 第4号 令和6年度事業計画の設定について
- 第5号 役員報酬の支給について
- 第6号 第9次農業振興計画及び中期経営計画の設定について
- 第7号 定款の一部変更について
- 第8号 総代選挙規程の一部変更について

報告事項1 労働保険事務組合の令和5年度徴収・納付状況の報告について



### スマホアプリ『JAコネクト』

JAからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。

※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用 申込書」に記入し提出願います。

※お問合わせ先 審査課 担当 高橋 TEL：23-2181



iPhone用



google用



JA伊達市の公式



フェイスブック

Facebook



インスタグラム

Instagram



農業・地域に係る様々な情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします!

(担当:営農指導課)



JA.DATESHI.HIYAHADO

## ■ JGAP団体認証取得！

JA伊達市トマト部会GAPグループ（永田克彦部会長）は、4月上旬にJGAP団体認証を取得しました。昨年度のJA全中によるGAP取得支援事業を活用し、約1年かけて取得に向けた書類や圃場などの整理を始め、今年の1月に審査を受け、合格しました。

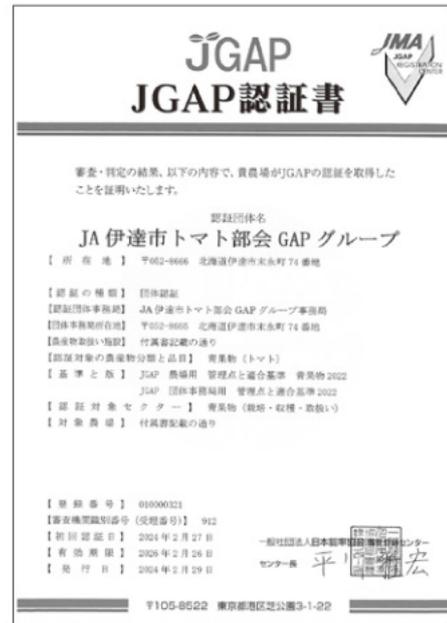
さらに、JA全中のアドバイザーより取得に向けた支援方法などのアドバイスを受けながら営農指導課を中心に、生産販売課、生産資材課の職員6名が団体事務局としてJGAP団体認証を取得しました。

JAPとは農業生産管理工程をよくするために必要不可欠な取り組みである「GAP」のひとつで、「持続可能な農業」のために生産者が取り組むことをまとめた基準であり、SDGsの17の目標とも親和性が高く、SDGsに貢献できる内容になっています。

JGAPの取得により販売先からの信頼が確保され販路拡大にも繋がる、記録したデータを活用することでより良くするための改善点などを把握することができ次の計画が立てやすくなる、人材募集の際にも働きやすい環境だというアピールにもなるなどのメリットがあります。

トマト部会GAPグループのメンバーは現在5名で、今後さらにメンバーを増やしていく方針です。

GAPに関しては営農指導課または生産販売課までお問合せください。



## JAの家庭雑誌

あなたの元気がわたしの元気

# 家の光

お申し込み受付中

◇普通月号

税込 **629円**

◇付録月号

（家計簿付12月号）

◇付録月号

（1・4・5・7・9月号）

税込 **1,027円**

税込 **922円**

## 年金友の会



## ■ ゲートボール大会開幕戦

5月15日(水)、伊達市総合体育館にて年金友の会ゲートボール大会開幕戦が開催されました。

当日は7名が参加し、開幕戦ということで久々の交流を楽しんでいました。

成績は以下の通りとなっています。

### ○ゲートボール結果

優勝A	平泉 国子	伊藤 喜枝
	東海林綾子	
2位B	角田 満	太田 智
	東海林信雄	堀 智博



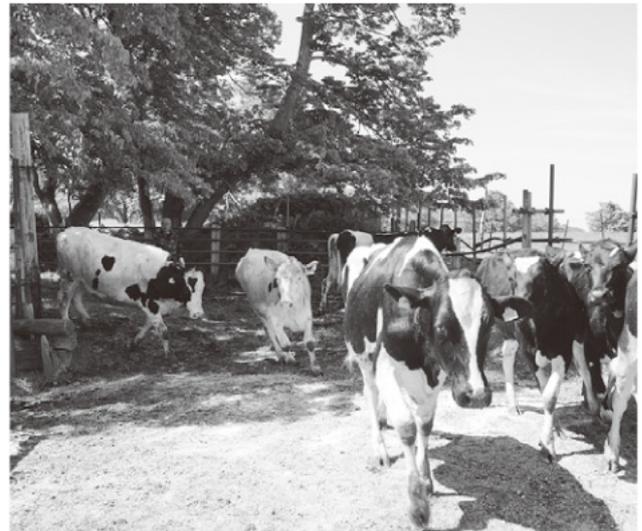
開幕戦のようす

## ■ 東関内公共牧場入牧

5月20日(月)22日(水)23日(木)の3日間、東関内公共牧場にて育成牛の入牧が行われました。

畜産課と関係機関の協力によって1頭ずつ個体番号確認や写真撮影、体重計測、駆虫剤塗布の作業が手際よく行われ、順々に放たれた牛たちは元気よく駆け出していました。

今年は市内6戸の生産者から116頭（乳用牛87頭・肉用牛29頭）が入牧し、約70haの広々とした放牧地で育成することにより100kg前後体重を増やし、10月下旬に各生産者のもとへと戻ります。また、6月7日(金)には登別公共牧場でも入牧が行われ、登別市内3戸の生産者から約20頭が入牧しました。



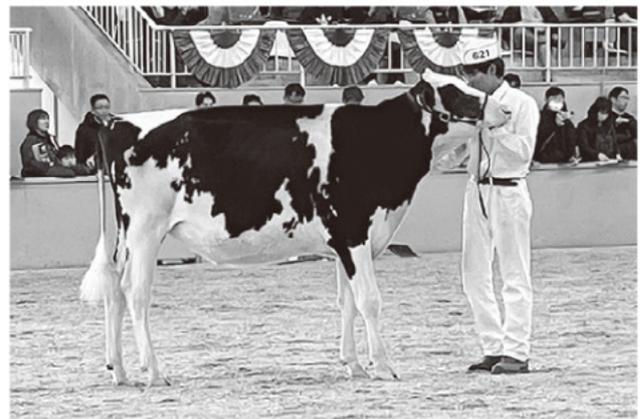
トラックより一斉に降りてくる牛のようす

## ■ 2024北海道 B&W ショウ 最高位獲得!

5月25日(土)～26日(日)の2日間、北海道ホルスタイン共進会場にて開催された北海道ブラックアンドホワイトショウで、黄金地区の佐藤裕平さんが出品したクレーンシルキーアロングサイドが未経産シニアミドルクラスで最高位に、さらに未経産牛全体の中でも最高位であるジュニアチャンピオンに輝きました。

ブラックアンドホワイトショウはホルスタイン種の改良を図り、相互の親睦と技術の向上を目指すイベントで、約260頭が月齢ごとにクラス分けされ最高位を目指して競いました。

当JA管内から出品されたホルスタインが最高位、さらにはジュニアチャンピオンに輝くのは初めてで、快挙となりました。



ジュニアチャンピオンに輝いたアロングサイド号

## JA女性部



### ■ 花壇整備

5月28日(火)、JA伊達市女性部は毎年恒例となっている花壇整備活動を実施しました。

部員11名が参加し、女性部員が育てたペコニア、サルビア、ナデシコ、キンギョソウをプランターに植え、本事務所正面入口および金融側入口に設置しました。

この活動は、マーケットや本事務所を利用される方々に気持ちよく利用していただけるようにと景観美化の一環として毎年行われています。

本事務所へお越しの際はぜひご覧いただき、

癒されてみてはいかがでしょうか。



作業後の記念写真

## ■ 田植え最盛期

5月下旬から6月上旬にかけて田植えが行われました。水稲面積が多い長和・上長和地区は市内で最も早く田植えが開始され、一部では密苗や自動操舵田植え機などを導入し、スマート農業に取り組んでいる生産者もいます。市内の水稲作付面積は主食用米 129ha、加工用米 35.7ha、備蓄米 8.3ha の計 173ha ほどで、ななつぼしを中心にゆめぴりかななど約5品種が生産されています。

市内ではスマート農業の取り組みとしてドローンによる防除や肥料散布などを実施し作業効率の向上に取り組んでいます。ドローンによる防除や

肥料散布にご興味のある方はグリーンセンターまでお問合せください。



田植えのようす

# JAへの就職希望者100%就職 (令和5年度実績)

## 令和7年度第1回学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年●寮完備(個室)●通学制開始
- 受験資格:満27歳未満(令和6年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:9月21日(土)●願書受付:7月12日(金)~8月30日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校

令和7年度より  
通学制開始

# JAカレッジ

一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町 43-1

☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索 

営農生産部 生産販売課 農産係より

## 麦乾施設よりお願い

昨年の夏は高温で、粳や精米した後の米にも虫の発生が多く見られました。今年度はさらに昨年よりも高温が予想されますので早めの時期の精米をお勧めいたします。

尚、虫が発生している粳の受け入れは固くお断りいたします。

(生産販売課) TEL 0142-23-2221

(麦乾施設) TEL 0142-23-2458



守ろう

確かめよう

# 農薬ラベル、 周囲の状況

適切な防護装備の  
着用の徹底



適用病害虫と  
使用方法

作物名	適用病害虫	薬剤
○○○	○○○○	○○○
○○○	○○○○	○○○

## 基本的なルール

- ① 農薬の使用前にラベルを確認
- ② 農薬の使用後は帳簿に記録



誤飲を防ぐため、  
施錠による  
保管の徹底



クロルピクリン剤を  
使用した後の  
被覆の徹底

住宅地周辺で使用する際の  
周辺への配慮、飛散防止の徹底



### 農薬散布のお知らせ

○○年○月○日 ○時～○時  
場所○○○○ 目的○○○○  
農薬名○○○ 連絡先○○○

[https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_tekisei/](https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/)

農薬の適正使用 農林水産省

検索



令和6年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

**正組合員様限定！**

**時間帯問わず  
コンビニ  
ATM手数料**

**0円**

**※セブンイレブン・ローソン・イーネット・ゆうちょ銀行が対象です。**

**正組合員のご家族の方や  
准組合員の方は月2回まで  
無料でございます。**





◆北海道◆

# お米・牛乳子育て応援事業 第二弾

- 電子クーポン
- お米取扱
- 牛乳取扱

<電子クーポン利用期限>

令和6年7月21日(日)まで

- おこめギフト券 又は おこめ券

- 牛乳贈答券



# ここで使えます

北海道お米・牛乳子育て応援事業事務局

北海道お米・牛乳子育て応援事業事務局 コールセンター

TEL.011-350-7371

受付時間/9:00~17:00



<専用ホームページ>



組合員  
の活動

▶第17回理事会…令和6年5月29日(水)

- 第1号 令和6年度組合員信用限度・クミカン供給限度・貸越極度査定書について
- 第2号 令和6年度JAバンク経営戦略シートの策定について
- 第3号 共済規程の一部変更について
- 第4号 令和6年度JAバンク基本方針について基づく財務モニタリングの報告について
- 第5号 令和6年度JAバンク基本方針について基づく体制整備モニタリングの報告について
- 第6号 人材派遣会社に係る費用負担の生産者徴収方法(案)について
- 第7号 行政庁への業務報告書の提出について
- 第8号 理事の報酬(案)について
- 第9号 職員就業規則の一部改正及び副業要領の設置について
- 第10号 第1・四半期監事監査日程について
- 第11号 出資金持分譲渡について

**退職**されました  
令和6年5月31日付

氏名	部署
高橋 瑠希	購買部生産資材課 生産資材係



# 未来を変える。 みんなで変える。

## 国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.80

### 上館山地区 工事開始

上館山地区の工事が始まりました。  
工事の実施にあたっては、工事業者の測量後、取付道路等の位置確認や試掘調査等、現地立会に協力頂いたのちに、着工となります。  
まずは、基盤造成・整地（土の移動）を行い、その後必要に応じて暗渠排水工、取付道路設置などを行います。



### ◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業  
促進期成会事務局  
(伊達市 経済環境部 農地整備課内)  
TEL0142-82-6161 (直通)

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181  
E-mail kouhou@ja-datashi.or.jp http://www.ja-datashi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

